

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

May.2026

INDEX

1. サンシングループ 経営理念
2. サンシングループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report (品質)
7. ESG Report (環境)
8. ESG Report (地域貢献活動)

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～

自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 週次/月次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケティング・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジネス・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会の開催

TOP MESSAGE

世界中で生成AIの導入が一気に進み、私達の働き方や判断のスピードがこれまでとは比較にならない程、変化しています。

香港でも行政手続きから交通、医療までAIが日常で動き始めています。

技術が進む程、「人の判断」の価値が問われます。便利さが増す一方で、

情報の真偽をどう見抜くか？

判断をAIに委ねすぎているか？

人と人とのコミュニケーションは薄れていないか？

こうした問いは、これまで以上に重要になっています。

技術に振り回されるのではなく技術を使いこなす為に何が必要なのか。それは最新ツールの導入だけではなく日々の気づき、対話、現場の声、そして人としての感性、これらが揃って初めてAIは本当の力を発揮するのではないかと感じます。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

世界主要都市の緑地充実度で、東京は40位と非常に低くなっています。第一位はメルボルンなのですが、メルボルンの指数を100とすると東京は36.4なのだそう。都ではみどりの創出・保全の取組に力を入れてはいますが、戦後の混乱期には都市の設計段階から計画的に大きな緑地を確保して残すという発想が無く、東京の緑は「点在」する形が多くなり、総面積で見劣りしているとの事です。しかし近年では再開発時の緑地確保や屋上緑化などの取組も増えておりますので、これからの東京に期待です。(Y.Y.)

SANSHIN West

新年度の慌ただしさが落ち着く5月ですが、近年は気温の上昇が早く寒暖差も大きいなど、気候の“揺らぎ”を感じやすくなっています。細かな不調の連続・だるさ・不眠・集中しづらさといった体調変化にも注意が必要です。恐ろしいことに今年もスーパーエルニーニョ予報が出ており歴史的な猛暑の見通しだそうです。無理のない省エネや接触冷感素材の衣類を取り入れるなど、なるべく快適な環境を整えながらキビシイ夏に備えていきましょう。(N.K.)

SANSHIN Hong Kong

故郷の婚礼宴席では、使い捨てのコップや箸、食器がすべて用いられます。使用の面では確かに便利ですが、地元住民の環境保護意識が薄く、一部の素材は高温に耐えにくいいため、熱い料理を盛り付ける際に有害物質を放出するリスクがあります。これにより、人々の健康に潜在的な脅威が生じ、加えて一度きりの使用で廃棄されるこれらの品々は、環境負荷を著しく増大させています。やはり、子供の頃を思い起こすように、伝統的な陶磁器食器への回帰を提唱したいと思います。洗浄・消毒を徹底した上で繰り返し使用することで、使い捨て用品の消費と汚染を根本から削減し、健康リスクを低減するとともに、持続可能なグリーンライフスタイルを推進できるでしょう。こうした変化を、心から期待しています。(Y.L.)

SHINKOWA

日本では結構当たり前に食べることができるヨーグルト。スーパーでいくつか購入し食べてみるのですが、なかなかおいしいヨーグルトがありませんでした。が、最近専門店が出来購入可能になりました。ギリシャヨーグルト・プレーンヨーグルトをよく注文します。ドライマンゴーを入れ冷蔵庫に1日入れ食べます。日本のブルガリアヨーグルトに近いです。便利になりました。(K.S.)

SC2

【走れ、再生エネルギー】札幌市の市営地下鉄が使う電力は、市内にある3カ所のごみ焼却施設で発電された電気でもかまわれています。なかでも最近建て替えられた「駒岡清掃工場」は、以前より発電効率が3倍に向上しました。市民が出したごみを燃やして発生する熱で電気をつくり、その電気で市民を乗せた地下鉄が走る—そんな循環のしくみ、思わず応援したくなりますね。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

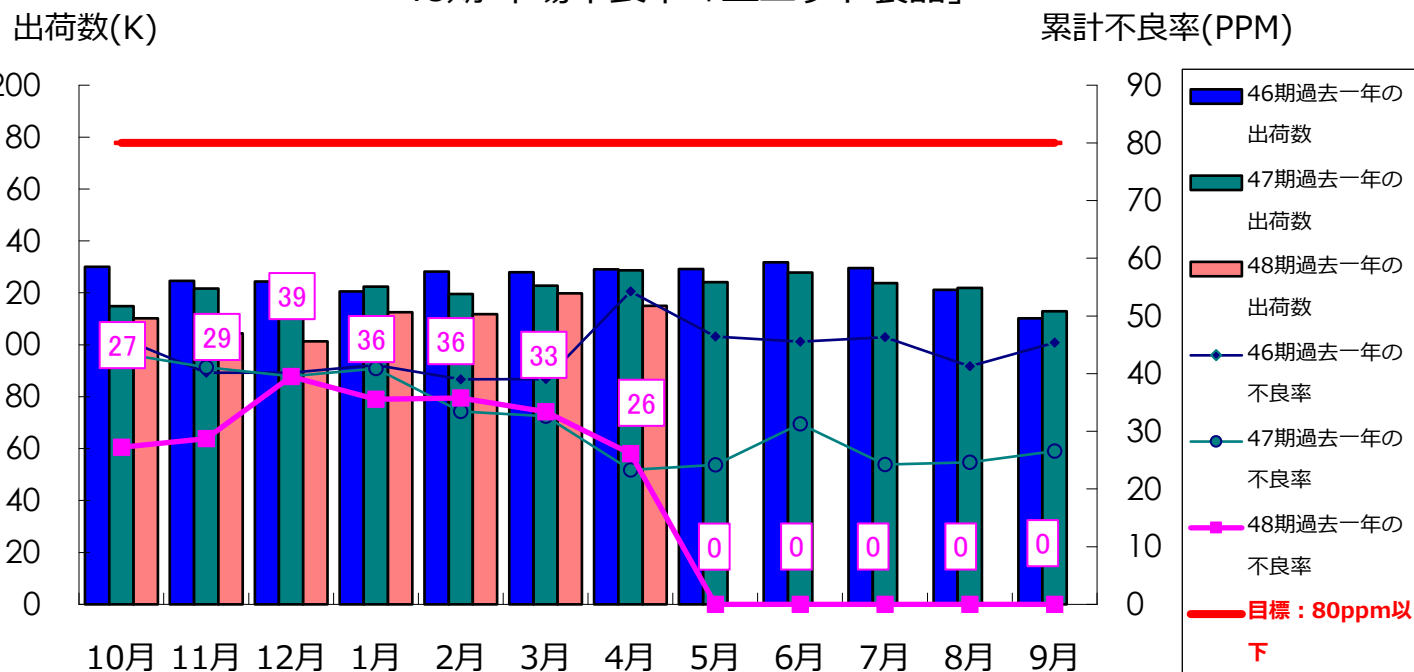
1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

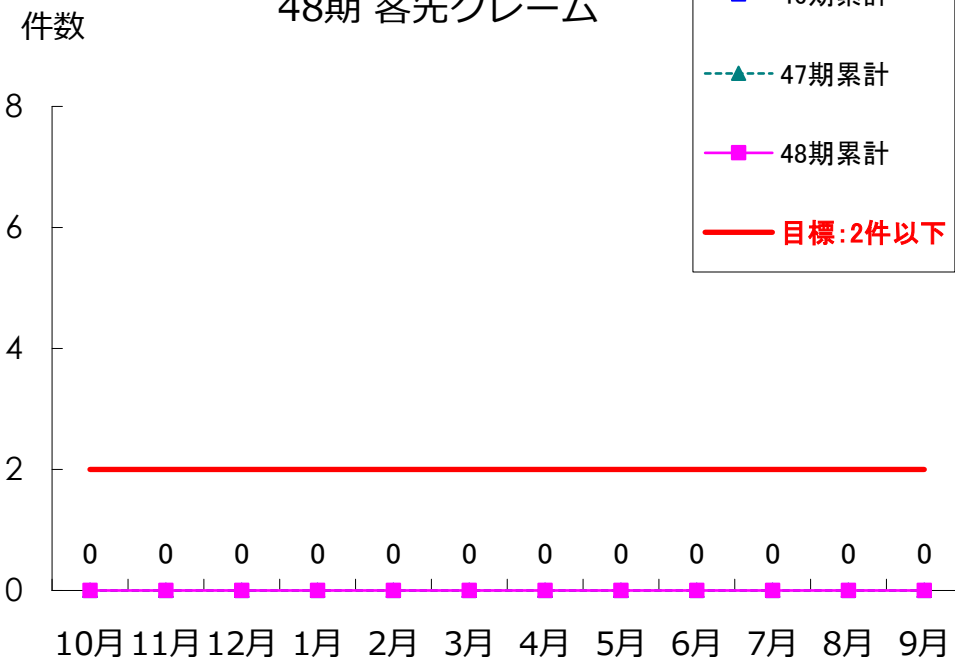
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 48期の累計不良率(解析依頼含む) : 26ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

48期 市場不良率「ユニット製品」



48期 客先クレーム

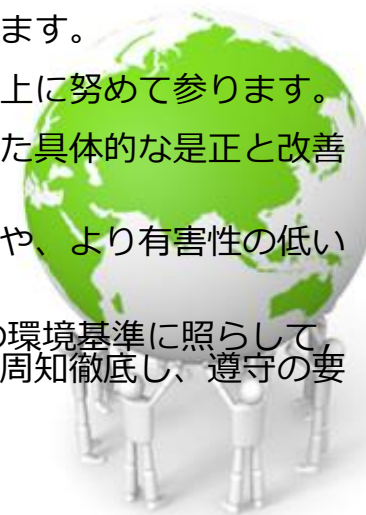


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

■ 「ナフサ不足」とは何か – 私たちの仕事への影響

1. ナフサとは何か

☑ ナフサの基本

ナフサ (Naphtha) とは、原油を精製する際に得られる「軽質油」の一種です。ガソリンに近い性質を持つ透明な液体で、石油化学製品を作るための重要な原料として使われています。日本では特に、以下のような製品の原料として幅広く利用されています。

- ・プラスチック
- ・合成樹脂ゴム
- ・接着剤
- ・塗料
- ・半導体関連材料
- ・化学繊維

つまり、私たちの身の回りには多くの工業製品は、ナフサを起点として製造されていると言えます。

☑ ナフサから何が作られるのか

ナフサは石油化学コンビナートで熱分解され、「エチレン」や「プロピレン」といった基礎化学原料へ変換されます。

例えば、

- ・エチレン → ポリエチレン、フィルム、
- ・包装材プロピレン → 自動車部品、家電部材
- ・ベンゼン系 → 電子材料、塗料、接着剤

など、多種多様な製品へ派生していきます。そのため、ナフサは「化学産業の米」と呼ばれることもあります。



TOPICS

2. なぜ今、ナフサが不足しているのか

現在、世界的にナフサ供給が不安定になっている背景には、複数の要因があります。

(1) 地政学リスクの高まり

中東情勢や国際紛争の影響により、原油・石油製品の物流が不安定化しています。

特に、紅海周辺の航行リスク / ロシア・ウクライナ情勢 / 中国・台湾周辺の緊張などは、タンカー輸送や保険料上昇へ影響を与えています。結果として、輸送遅延や運賃高騰、あるいは供給量減少が発生し、ナフサ調達が難しくなっています。

(2) 世界的な需要変動

コロナ禍以降、世界経済が回復する中で、自動車 / 半導体 / 電子機器 / 建築資材向けの需要が急回復しました。その一方で、生産設備の停止や老朽化による供給制限が続いており、需給バランスが崩れています。

(3) 製油所の再編・脱炭素化

世界各国で脱炭素政策が進み、石油需要の将来減少を見越した製油所閉鎖・縮小も増えています。

日本国内でも、老朽設備停止 / 製油能力削減 / 石油化学設備統廃合などが進んでおり、供給余力が以前より小さくなっています。

つまり、「必要な時に十分な量をすぐ増産できない」状態になっているのです。

TOPICS

3. ナフサ不足による影響

ナフサ不足は、化学メーカーだけの問題ではありません。サプライチェーン全体へ波及します。

(1) 原材料価格の上昇ナフサ価格が上昇すると、関連化学品価格も連鎖的に上昇します。代表例として、・樹脂材料・梱包材・接着剤・ケーブル・被覆材テープ類などがあります。

製造業では「一部材だけ値上がり」というよりも、“広範囲でコスト増加”が起こります。

(2) 納期長期化

原料不足が起こると、化学メーカーは生産調整を行います。その結果、・一部材料の割当制・受注制限・リードタイム延長が発生します。

電子部品業界でも、樹脂ケースや絶縁材フィルム、梱包資材などで影響が出る可能性があります。

(3) 在庫戦略の変化

従来は「必要時調達」が主流でしたが、近年は供給不安から、・安全在庫増加・先行手配・長納期品の早期確保が重視されるようになっていきます。一方で、在庫増加は・保管コスト・キャッシュ負担・廃棄リスクも伴うため、バランスが重要になります。

TOPICS

4. 業務への影響

ナフサ不足は直接見えづらいものの、実際には日々の業務へ様々な形で影響しています。

- ・調達部門 ... 仕入価格上昇、サプライヤー回答遅延、納期変動増加
また、代替品調査や複数購買先確保など、リスク分散も重要になります。
- ・営業部門 ... 顧客に対して、値上げ説明、納期調整、供給リスク共有を行う機会が増加
近年は「価格」だけでなく、「安定供給できるか」が重要視されています。
- ・生産・物流部門 ... 包装材不足、副資材不足、輸送遅延など、間接的影響が発生する可能性
そのため、関係部署間の情報共有がより重要になります。

5. 今後の見通し

短期的には、地政学リスクや原油価格変動により、ナフサ市場は引き続き不安定になる可能性があります。一方、中長期的には、リサイクル材活用バイオ原料化脱石油化なども進むと見られています。ただし、現時点では石油化学製品を完全に代替することは難しく、ナフサは今後もしばらく重要な基幹原料であり続ける見込みです。

ナフサは、化学産業を支える重要な基礎原料です。現在の不足・供給不安は、国際情勢脱炭素化需給バランス変化など複数要因が重なって発生しています。その影響は、原材料価格上昇納期長期化在庫戦略変化として、製造業全体へ広がっています。今後も市場変動への柔軟な対応と、サプライチェーン全体を見据えたリスク管理が重要になると考えられます。

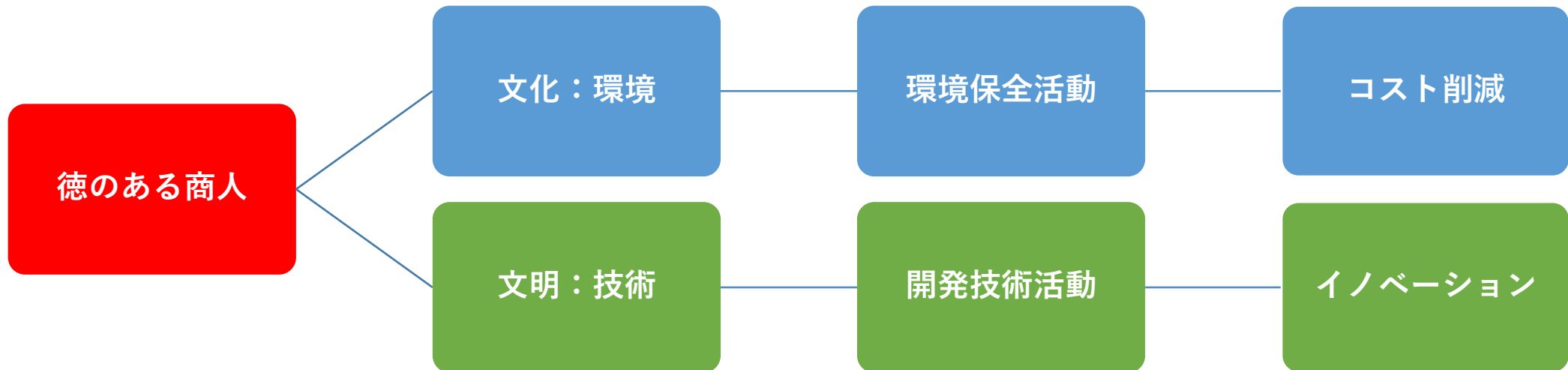
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

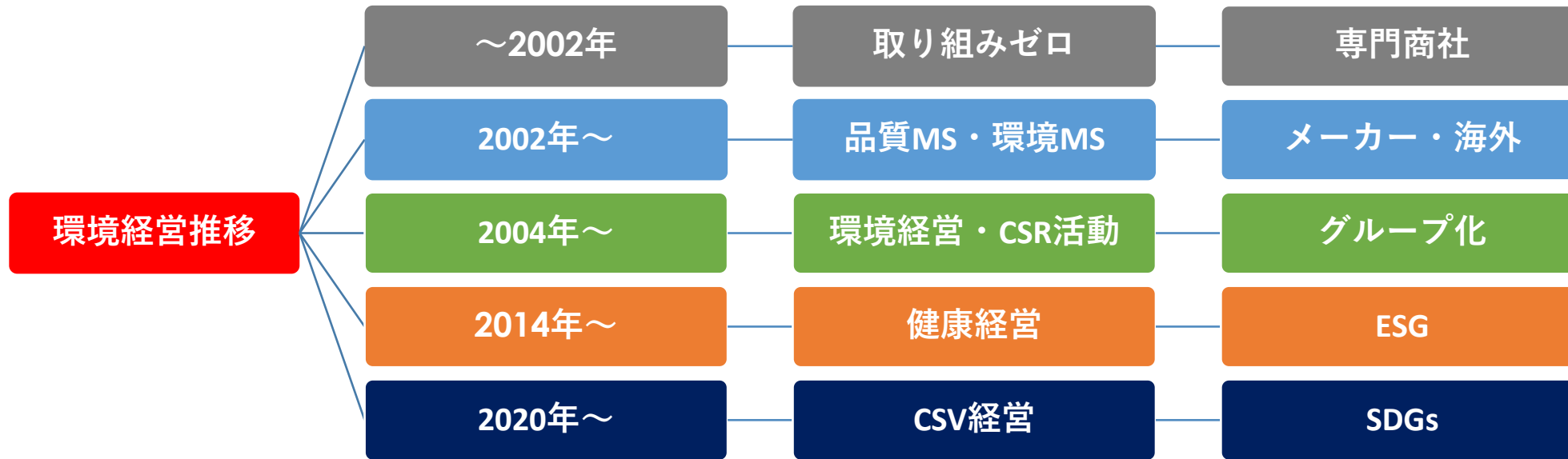
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

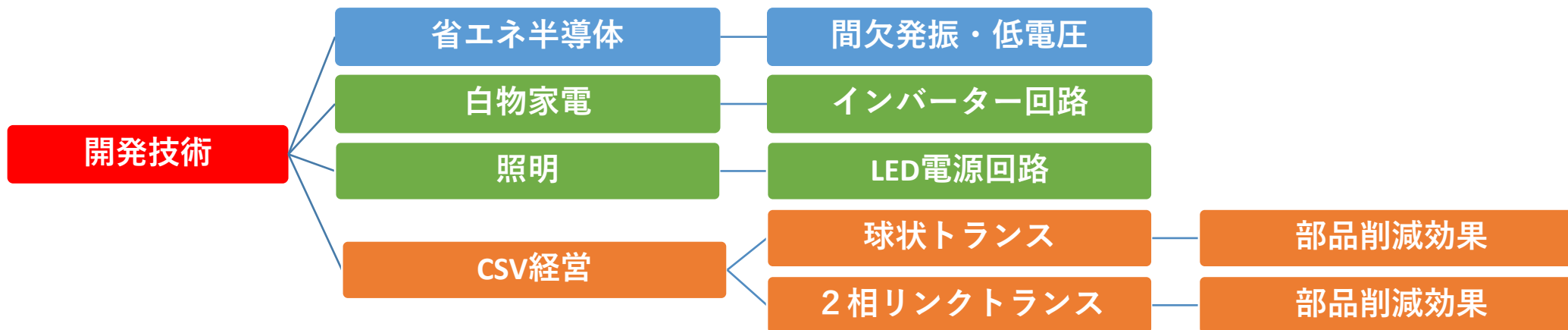
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

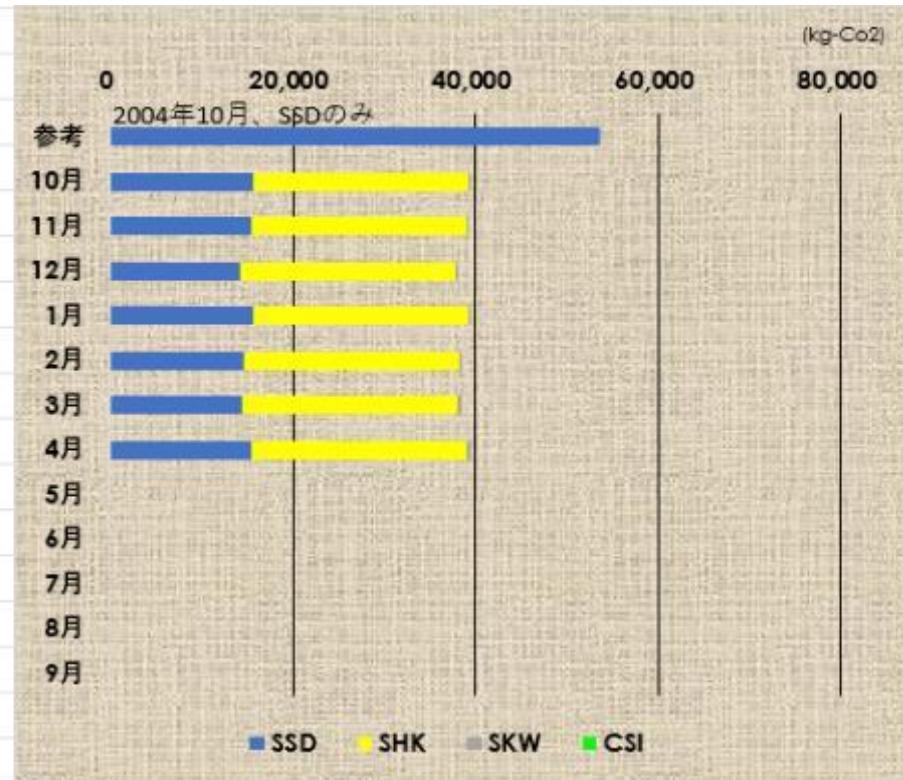
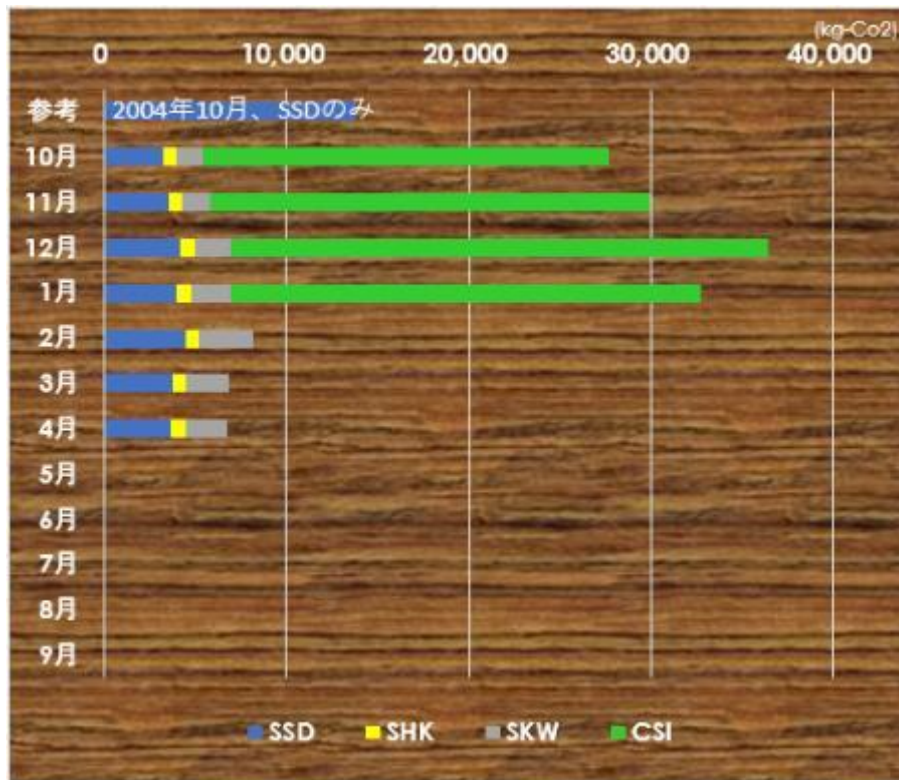
6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

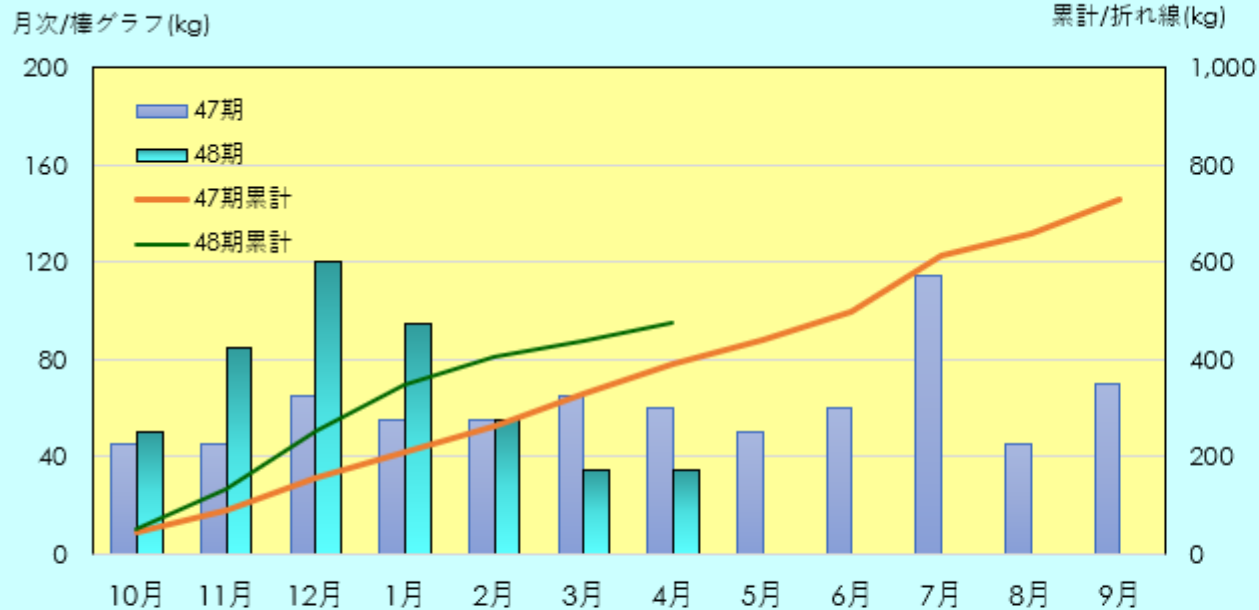
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

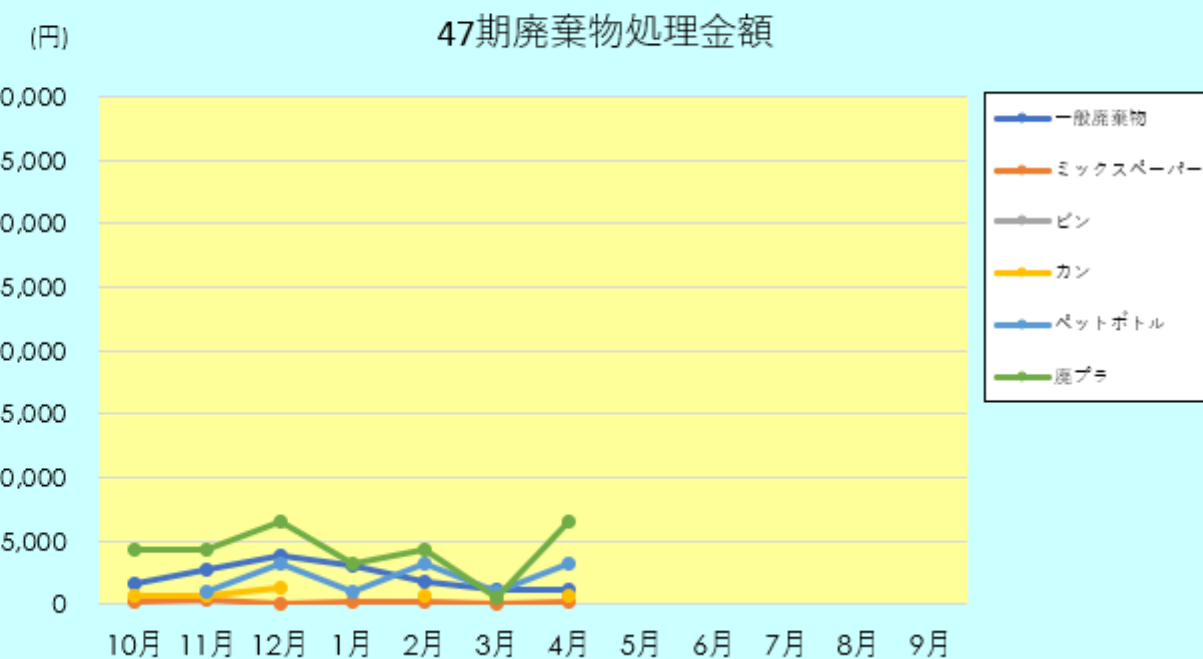
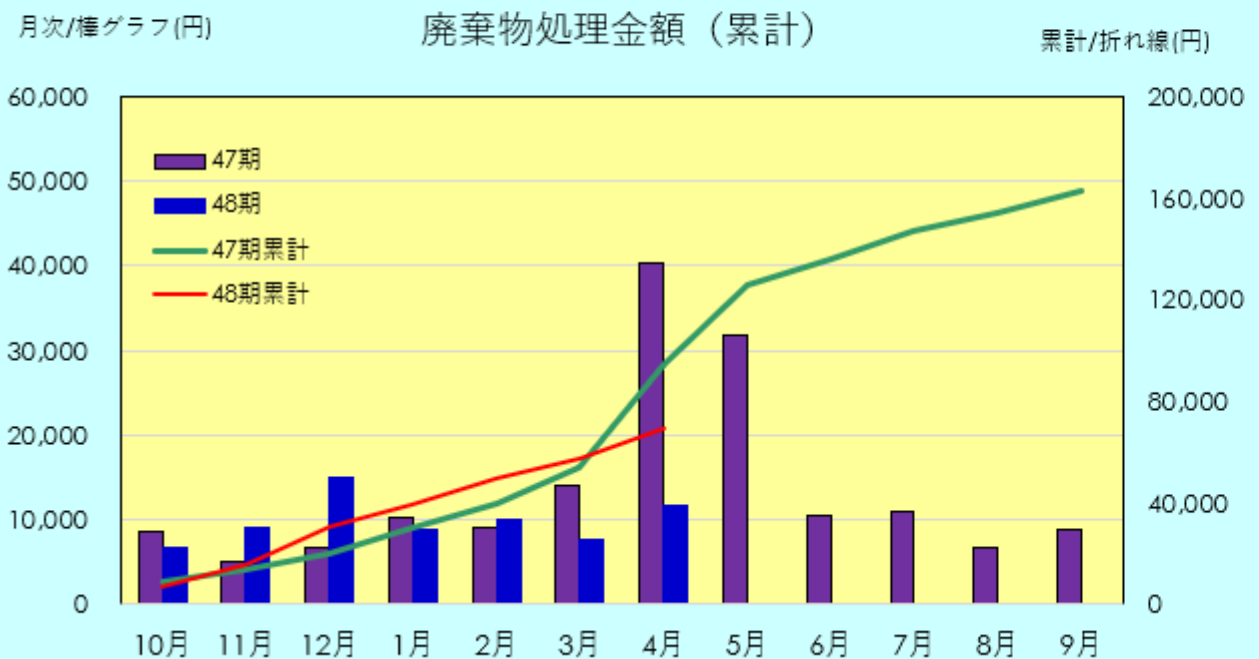
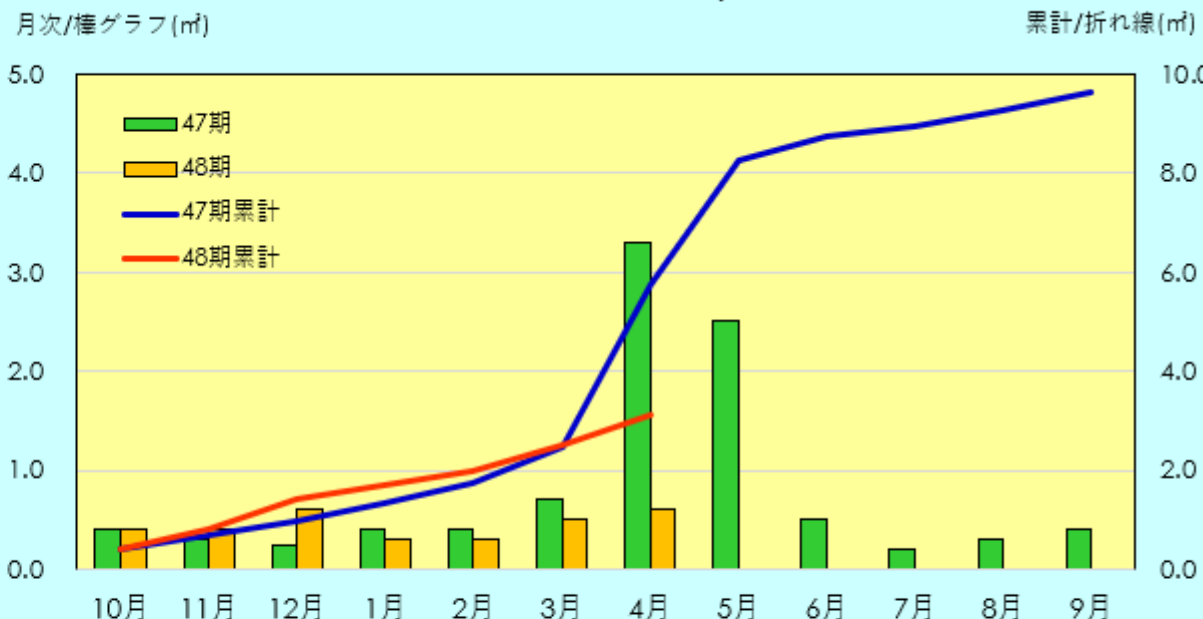
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物 (SSD/本社)



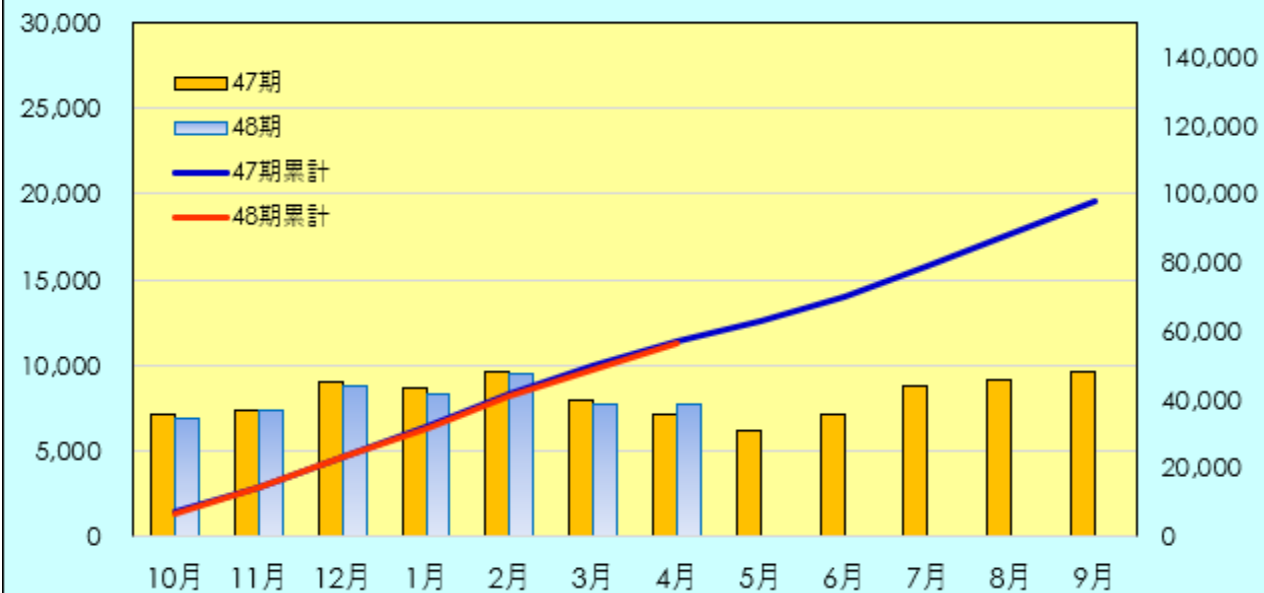
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

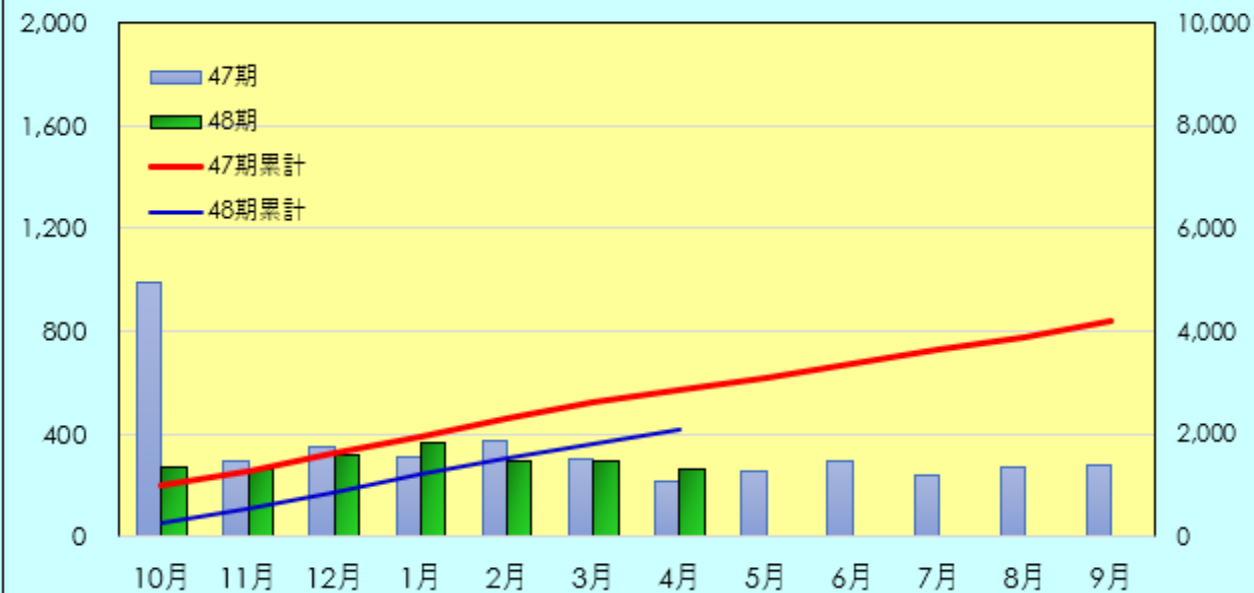
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

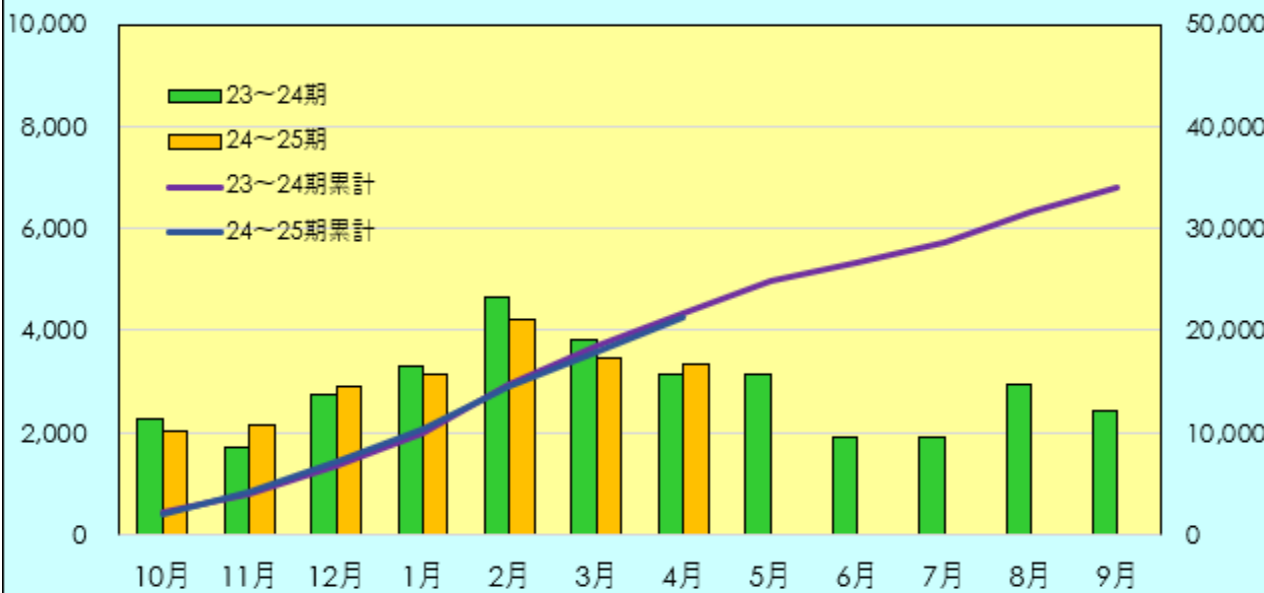
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

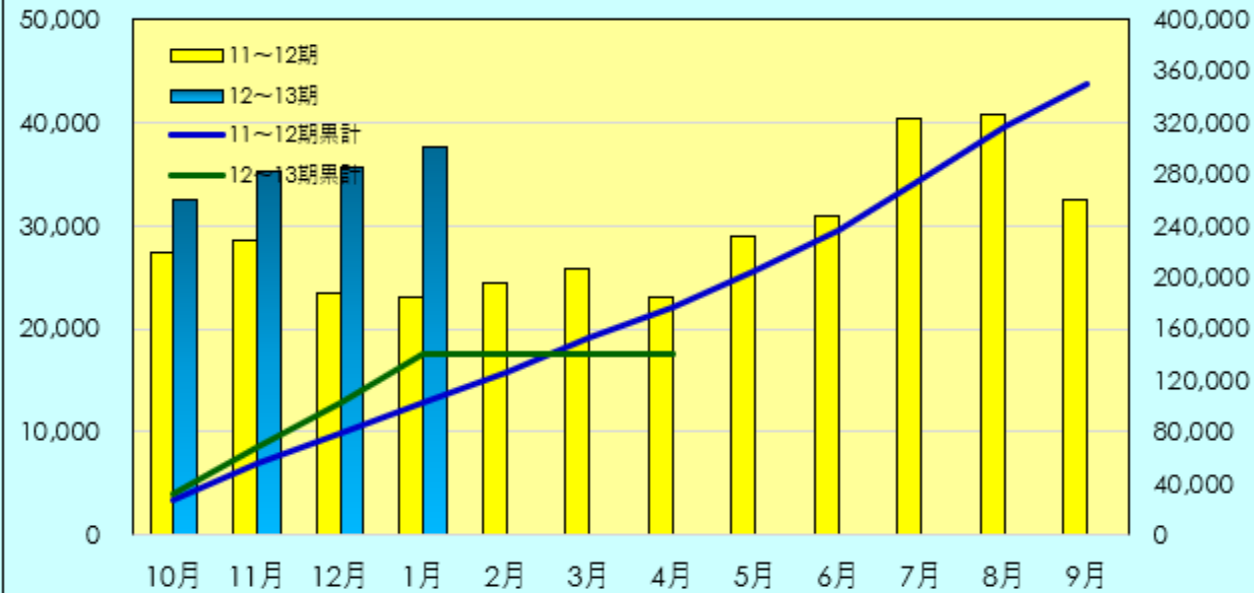
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

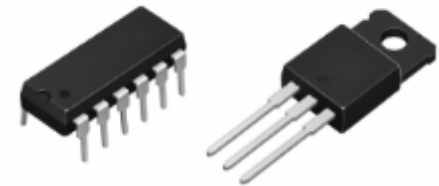
今月のTOPICS

●技術コラムにご注目ください！

サンシングループのホームページでは、皆さまに役立つ情報を発信する「**技術コラム**」を定期的に更新しています。SiC・GaNなどの次世代パワー半導体をはじめ、電源設計、高調波対策、トランス技術、各種規制対応など、現場で活かせる実践的なテーマを幅広く掲載。さらに、若手社員による連載では、日々の業務や学びを通じたリアルな視点もお届けしています。

専門的な内容をわかりやすく解説しているため、設計・開発に携わる方はもちろん、最新技術の情報収集をしたい方にもおすすめです。ぜひコラムページをご覧ください、業務改善や新たな発想のヒントとしてご活用ください！

<https://sanshin-ele.com/column>



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（4月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

